

2011年度

科目名	書誌学B				
担当教員	宇都宮 啓吾				
配当	日文2・文財2		コード	14021	
開期	後期	講時	月曜日4限	単位数	2
授業テーマ	書誌学の基礎知識を身につける				
目的と概要	日本の古写本や版本などの古典籍を取り扱う上で必要となる書誌学の基本的事項を出来るだけわかりやすく説明していきます。また、講義には、実習形式(写本調査)を取り入れ、実際の古典籍にふれる機会を設けます。				
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)				
テキスト	『日本古典書誌学総説』(藤井隆 和泉書院)				
参考書	講義中に、適宜、紹介します。				
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	準備学習(時間外学習):講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。実際の文献調査をするため、講義内容の復習は常に行なっておくこと。 学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気を壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション(全体の講義計画・評価方法等の説明)				
第2回	実習(典籍の取り扱い方)				
第3回	書籍の形状(書籍の形状に関する部分名称)				
第4回	写本調査の視点(調査カードの活用)				
第5回	書籍の形状(書籍の大きさ／書籍の形状に関する部分名称)				
第6回	書籍の内容(書籍の内容に関する種類と用語)				
第7回	書籍の内容(書籍の内容に関する種類と用語)				
第8回	書籍の内容(写本の内容に関する種類と用語)				
第9回	書籍の内容(写本の内容に関する種類と用語)				
第10回	書籍の内容(写本の内容に関する種類と用語)				
第11回	刊本(刊本の種類と名称／刊本の歴史)				
第12回	刊本(刊本の種類と名称／刊本の歴史)				
第13回	実習(典籍の書誌学的調査)				
第14回	実習(典籍の書誌学的調査)				
第15回	講義の総括				